



千人塚

聞 (夕刊)

2009年(平成21年)6月6日 土曜日

人生で一番悲しい瞬間切り取った



1945年6月7日の朝、
あす大阪の慰霊法要で
あす大阪の慰霊法要で
あす大阪の慰霊法要で

大阪大空襲の犠牲者が
市が当時探し出して「描き
残す」慰霊法要を展示する
中、泣きながら「あす大阪の
慰霊法要で描き残す」
と、紙に書き残した

大空襲惨禍 描き

案内状が届く 前日、新聞に記事が 掲載。

朝日新聞夕刊に「大空襲惨禍 描き残す」あす大阪の慰霊法要で展示。と言う4段ぬきの大きな記事が写真入りで掲載された。

以前から話には聞いていたがまだ一度も参詣の機会がなく、今年は是非にと存知よりの方をお願いをしていたところ、次のようなご案内を頂き、早速同行することになった。

城北公園
千人塚(平成二十一年度慰霊法要)

場所 城北公園 堤防上
(雨天の場合は常宣寺)

日時 六月七日(日曜日)午前十時三〇分

導師 常宣寺 藤林 顕晶 師

昭和二十年六月七日の大空襲で、旭区、都島区、城東区、大淀区、北区、守口市 等の 身元不明戦災死者の遺体を集めて、三十三晩 鬼哭喚々たる黒煙天に柱した無縁の人々の苦悶を弔うために、 千人塚を建立し、ささやかな慰霊法要を続けて参りました。 今年も同年の如く、心をこめて慰霊法要を行いますので、大方の志 ある方々の参詣御回向の程お願い申し上げます。 尚、お供物の義はお心遣いを下さいます様をお願いします。

千人塚慰霊法要協賛会
大阪市旭区生江三丁目十三番五号
東 浦 栄 一
電話(06)69210870

■案内状

大阪の慰霊法要



■千人塚慰霊法要

千人つか 慰霊法要

当日は雨こそ降らなかったがなんとなく蒸し暑い日。

淀川パークハウスから赤バスに乗り、公園前のひとつ手前の生江住宅前でおりた。

(運転手さんが近いですと教えて下さったところ) 早速会場へ向かう。

日曜日「城北菖蒲園フェスタ」の二日目とあって、公園内のステージではブラスバンドや太鼓、音楽演奏、ダンスなど、また、広場ではフリーマーケット、各町内会ボランティアの飲食店、新鮮野菜売り場、体験コーナーなどで大賑わいだった。ご町内の顔見知りにもご挨拶をしたり、がんばってね！などと声をかけながら会場へ進む。

30分も前だというのに一張りのテントのなかはほぼ満員で、遺族の方は殆どが喪服、年配の方は娘さん、お孫さんらに手を引かれ、毎度お顔なじみは杖を突きながらお互いに挨拶をかわしておられた。

知人に東浦さんを紹介してもらい、太子橋の地域史を進呈して、今日のことを旭区の地域史に掲載させてもらう許可を得た。勿論写真撮影もOK。式が始まる前に、昨日夕刊の記事にあった真弓百合子さんが描いた大空襲の絵も含め、辺りの様子をスナップした。お願いして東浦さんの肖像も撮らせていただいた。式が始まるとなんとなく動きにくく、いい写真は取れなかった。

司会者の式次第、施主の挨拶に続いて導師の読経が始まると、施主、各種代表、遺族、一般と焼香が30分ほどで終了した。それから当時この場におられたかたがたのお話があった。



■ 東浦さん

6月、大空襲の犠牲者・・・

爆弾や焼夷弾が降り注いだ

P51の機銃掃射も受けた。

こうして、旭区城北公園の惨事、大淀区長柄橋や東淀川区崇禅寺の悲劇が展開されたのである。

(当日配布された資料より抜粋)



■ 千人塚